全国大会の安全衛生保護具等の展示会に出展しました

建設業労働災害防止協会事業部復旧・復興工事安全衛生対策支援センターは、10 月 7 日・8 日に新潟県新潟市において開催された「第 63 回全国建設業労働災害防止大会 in 新潟」の「安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会」に、化学物質対策センター、ずい道センターとともに「建災防コーナー」として出展しました。



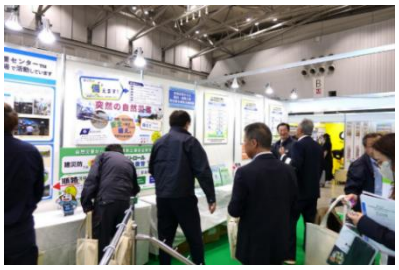




今回の支援センターの出展では、「突然の自然災害の復旧工事を安全に施工するために備えはできていますか。」をテーマに、事業の内容や令和８年熊本地震、大分市佐賀関の大規模火災、東京都八丈島の台風被害、大船渡市の大規模林野火災及び令和６年能登半島地震の復旧・復興工事に対する安全衛生確保支援など最近の取組についてパネルで紹介しました。

来場された方々の中には、熱心に復旧工事の状況を尋ねられ、パネルの写真を撮影される方もおられました。









また、建災防コーナーに来場された方には、「建災防統一安全標識」をあしらったチャームが当たるガチャガチャを回していただき、事業の関係資料を入れた大会特製トートバックをお渡ししました。多くの方に御来場いただきありがとうございました。

建設業労働災害防止協会では、自然災害からの復旧・復興工事や防災・減災工事に従事される建設事業者や作業員、発注機関や団体の皆様方を対象に、無料で現場パトロールや安全衛生教育を実施しています。お問合せ・お申込みは、各都道府県自然災害関連工事安全衛生支援センターまで御連絡ください。